

## 情報サービス演習II 第9回 雑誌および雑誌記事の探し方

鶴見大学 非常勤講師  
江草由佳  
(国立教育政策研究所 総括研究官)  
yuka@nier.go.jp

1

## 本日のお品書き

- お知らせ
- 雑誌および雑誌記事の探し方
- 第10回演習課題:雑誌および雑誌記事の探し方
  - 雑誌および雑誌記事の検索結果画面イメージ

2

## 雑誌および雑誌記事の特徴とそのアプローチ

- ツール(データベース等)を選ぶ
  - 日本の論文? 海外の論文? 分野は? 学術雑誌? 一般雑誌?
- データベース等を検索する
- ほしい雑誌記事がヒット!
  - 検索結果に本文あり(電子ジャーナル、機関リポジトリ)→すぐに読める!
  - 検索結果に本文なし→入手方法を調べる(雑誌がどこの図書館に所蔵しているかなど)

3

## 雑誌および雑誌記事の探し方

- Cinii Articles /CiNii Books\*
- 国立国会図書館雑誌記事索引
- 国文学論文目録データベース
- Google scholar
- 大宅壮一文庫雑誌記事索引 Web版
- JSTAGE

\*論理演算の演習で演習済み 4

## 第10回演習課題

- 演習課題を実行し、講義Webサイトから、回答用紙をダウンロードし、PowerPointで作成して、9分割の両面印刷して提出しなさい。
  - 課題名に: 第\_\_回演習課題と入れなさい
  - ※切: 来週演習開始時
- 「情報サービス演習II」、「第\_\_回演習課題・雑誌および雑誌記事の探し方」、「時限」「学籍番号」、「名前」、「提出年月日」を忘れずに記入すること

5

参考:9ページをまとめて一枚として印刷する方法※



※鶴見大学 402教室,403教室のパソコンでのやり方です。

## Cinii Articles/ CiNii Books\*

- CiNii (サイニイ) <http://ci.nii.ac.jp/>
- Cinii Articles
  - 日本の学術論文の論文情報を収録したデータベース
  - 本文を閲覧できるものもある、引用文献からたどることも可能
- CiNii Books
  - どこの大学に雑誌(本)が所蔵されているか、書誌レコードを確かめるのに使える(前々回に説明)

\*論理演算の演習で演習済み 7

## 演習課題: CiNii Articles

- p.73【例題1】自然エネルギーを利用した植物工場について書かれた論文を読みたい
- ①~④を実行しなさい
- p.76 6-4図 →画面イメージをPowerPointへ

8

## 演習課題: CiNii Books

- p.82【例題4】『日本緑化工学会誌』という雑誌の31巻2号に掲載された論文を読みたいが、どこの図書館で所蔵しているか
- ①~②を実行しなさい
- p.84 6-5図 →画面イメージをPowerPointへ

9

## 国立国会図書館雑誌記事索引

- 雑誌記事検索
- 国内の学術雑誌約10,000タイトル
- <http://opac.ndl.go.jp/>
  - 「検索機能のみを利用する」ボタンをクリック
  - 「雑誌記事」のタブをクリック
  - CiNii Articlesにも収録されている

10

## 国文学論文目録データベース(1)

- <http://base1.nijl.ac.jp/~rombun/>
- 「検索画面へ」
- 日本文学研究論文の総合目録データベース
- 日本国内で発表された雑誌紀要単行本(論文集)等に収められた論文の情報を掲載
- 検索項目(←より詳細な条件で探す)
  - 論文表題:雑誌タイトル中の実際の用語
  - 全ての項目(検索キーワード):論文の内容から人手によって「作家名」「作品名」を付与された用語

11

## 国文学論文目録データベース(2)

- 論理演算(項目間)
  - 各項目入力フォームのメニューにて選択
- 論理演算(項目内)
  - 論理積(and):「&」
  - 論理和(or):「|」
  - 論理差(not):「!」
  - 演算子は全て半角

12

### 演習課題:国文学論文目録データベース

- p.78【例題3】ドナルド・キーンが著した三島由紀夫に関する文献を知りたい。
- 1. 論文表題を使って検索(少なくヒット、漏れ多)
  - 左上の「より詳細な条件で探す」
  - 論文表題:「三島由紀夫」、論文執筆者:「キーン」でと入力→ [検索画面をPowerPointへ](#)
  - “検索” → [検索結果画面をPowerPointへ](#)
- 2. キーワードからの検索(多くヒット、ノイズ多)
  - 「三島由紀夫」の「論文表題」を「全ての項目」に変更、論文執筆者:「キーン」 → [検索画面をPowerPointへ](#)
  - “検索” → [検索結果画面をPowerPointへ](#)

13

### 演習課題:国文学論文目録データベース

#### 3. OR検索

- 全ての項目:「三島由紀夫」、論文執筆者:「キーン|Keene」と入力→ [検索画面をPowerPointへ](#)
- “検索” → [検索結果画面をPowerPointへ](#)

14

## Google scholar

- <http://scholar.google.co.jp/>
- Googleが提供している学術論文を対象とした検索エンジン
- Web上の学術論文と推定される論文情報検索については網羅性が確保される
- 逆にいえば、Webをとおしてクローリングできない論文情報が検索できないことに注意が必要(つまり、商用データベースにしかない論文情報も多い)
- 引用元論文や関連論文へのリンクもある

15

### 演習課題:Google scholar

- 検索してみましょう(例:情報探索行動)
- 「引用元」リンクをたどってみる
- 「関連記事」リンクをたどってみる
  - [検索結果画面をPowerPointへ](#)

16

## 大宅壮一文庫雑誌記事索引 Web版

- <http://www.oya-bunko.com/>
- 大衆向けの月刊誌や週刊誌、女性誌の記事が検索できる
- 注意! 利用したら必ずログアウトすること
  - 同時利用が1しかないので、演習はしません
  - 鶴見大学内からのみ検索できます

17

## J-STAGE

- <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>
- 多くの日本で出版された学術雑誌の多くが無料で読める(一部は有料)電子ジャーナルサイト
- 電子ジャーナルとは
  - 紙でなくデジタル媒体の学術雑誌のこと
  - 中には無料で閲覧できるものも多くある
  - 学術雑誌は、多くがWebで読むことができる

18

## 演習課題: JSTAGE

- 検索例: 学術雑誌「情報管理」に掲載された「インターネットのJ-STAGEを利用した電子ジャーナル(オンラインジャーナル)」に関する論文を探したい
- 「詳細検索」
- 「抄録」: 「オンラインジャーナル」 「OR」
- 「抄録」: 「電子ジャーナル」 : 「AND」
- 「標題」: 「J-STAGE」 : 「AND」
- 「標題」: 「インターネット」
- 「検索」 → 検索結果画面をPowerPointへ  
- 検索結果と、検索式が見えるように
- 「抄録」をクリックしてみる
- (Shift押しながら) 「本文PDF」をクリックしてみる  
- 本文を読める